

ケース記録の書き方研修

介護職における記録は、より良いサービスを提供するうえで非常に重要ですが、記録の目的や作成する意味を理解せずに作成すると記入するポイントが定まらず、負担に感じてしまう業務です。さらに、読み返した際「必要なことが書かれていない」「他人が読んで理解できない」等、その後のケアが滞る原因となることも・・・。

この研修では、記録を分かりやすく記載する方法を学ぶことで、利用者支援での気づきや観察力につなげます。

日 時 令和8年 7月 28日(火) 10時～16時



講師：青柳 佳子氏

関西福祉科学大学 社会福祉学部 准教授

介護福祉士。特別養護老人ホームで介護職を12年経験後、介護福祉士養成教育に携わる。

著書：「改定版 観察の視点を活かした介護記録の書き方」公益財団法人介護労働安定センター、2017年 他



受講料 6,000円（事前振込）

※申込締切後、受講決定通知と共に振込用紙を郵送にてお送りします。

定員 60名（申込多数の場合、神戸市在勤・在住の方を優先し、抽選）

対象 介護職・生活相談員・サービス提供責任者等(その他、関心のある福祉職)

申込方法 7月7日(火)までに、市民福祉大学ホームページよりお申し込みください。
(<https://www.shiminfukushidaigaku.jp>)

※締切後の申込については、お問い合わせください。

※お知らせいただいた個人情報は研修にかかる事務以外には使用いたしません。

会場 こうべ市民福祉交流センター

申込フォーム

《会場アクセス》

- 各線「三宮」駅下車、徒歩15分
- 市営地下鉄海岸線「三宮・花時計前」駅下車、徒歩7分
- 市バス⑦系統「市民福祉交流センター前」下車すぐ



受講生の声



今まで何を書けばいいか迷って時間がかかっていましたが、『観察の視点』を学んだことで、記録すべきポイントが明確になりました。無駄に悩む時間が減り、業務のスピードアップに繋がっています。



自分の記録が他人にどう伝わるかを意識できるようになりました。『主観』ではなく『客観的な事実』に基づいた書き方を実践したところ、ケアマネジャーや看護師との情報共有がスムーズになり、チームでのケアの質が上がったと感じます。

会場案内地図
(Googleマップ)

【主催・お問い合わせ】

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 こうべ市民福祉交流センター内

TEL:(078)271-5300 FAX:(078)271-5365 E-mail:daigaku@with-kobe.or.jp